

## 編集後記

本年3月30日付けで交流協会経理部へ配属となりました。前職は在ロシア日本国大使館（モスクワ）にて経理を担当しておりました。日本とロシア、互いに地勢学上重要な関係にあります。日本とロシア間では長年の懸案として北方領土問題があり、最近ではメドベージェフ首相らによる2回目の国後島訪問もあり、ロシアによる実効支配が70年近くにも及ぶこともあり、交渉打開への道のりは年々厳しくなりつつあります。

ロシアは1998年のロシア金融危機を底にルーブル切下げによる国内産業の復調と原油価格の高騰を主な原動力として回復し、翌99年以降から10年間連続でプラス成長（2002年を除きすべて5%以上）したこともあり、日露間の貿易高及び進出企業数も増加傾向にあるようです。モスクワに在勤（居住）して感じたことは、朝夕のラッシュ時は言うに及ばず、車の交通量、渋滞が激しく、モスクワ市内全域が駐車場と見まがうほど自動車が氾濫し目的地まで行くのに相当時間がかかることでもあります。特に国内・国際線の飛行場はモスクワ市郊外にあることもあり、出発日など出発時間の4時間以上前にアパートを出発しなければならないほどでした。あれだけの国土の広い国ですから、前地域くまなく整備することは不可能でしょうがモスクワのようなロシアの首都圏ですら道路整備（駐車場含む）等のインフラが交通量の伸びに追いつかないのが現状のようです。小売店やスーパーへの買物に出かけても店員の客に対するサービス（笑顔での言葉かけ）はほとんどなく、その対応は、事務的・機械的であります。ソ連邦崩壊後、20年以上経過しても物流サービスは日本（日本はある意味で特殊かも知れないが）と比べるすべもありませんが、顧客に対しサービス精神が薄いのは彼の国が長年社会主義国家であり、その殻からなかなか脱出出来ない事と関係があるかと思うこともあります。

先般、用務にて初めて台湾を訪問しましたが、時間の制約もあり活気ある台北市街を短時間しか探索できませんでしたが、台湾が日本人にとって旅行地として人気のある理由がわかるような気がしました。台湾の人は一般的に人柄が穏やかであり、外国人特に日本人に対してオープンかつフレンドリーで、ホテル・レストラン等でも結構日本語が通じ、台北では様々な中華料理（台湾、上海、北京等）を気軽に愉しめ、値段も手頃であります。また、島には五つの山脈が南北に走りそれらが島の総面積の半分近くを占め、島の大部分が火山帯であること、日本の自然環境（温泉も点在）にとってもよく似ている等、これらが日本人にとって居心地の良い場所、歴史ある旅先として人気があるような気がします。最後に私事で恐縮でございますが、これから日本と台湾関係の仕事に就くこととなりますが、日台の経済・文化交流等がより一層進展するよう、微力ながら勤めさせていただきますので、宜しく願い申し上げます。

（経理部長 高田 明）